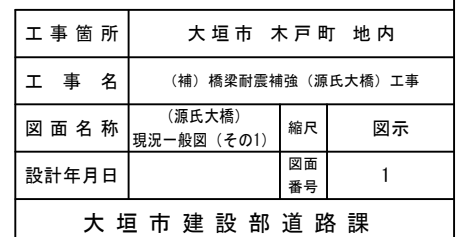
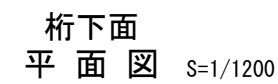
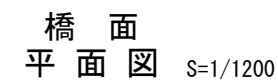
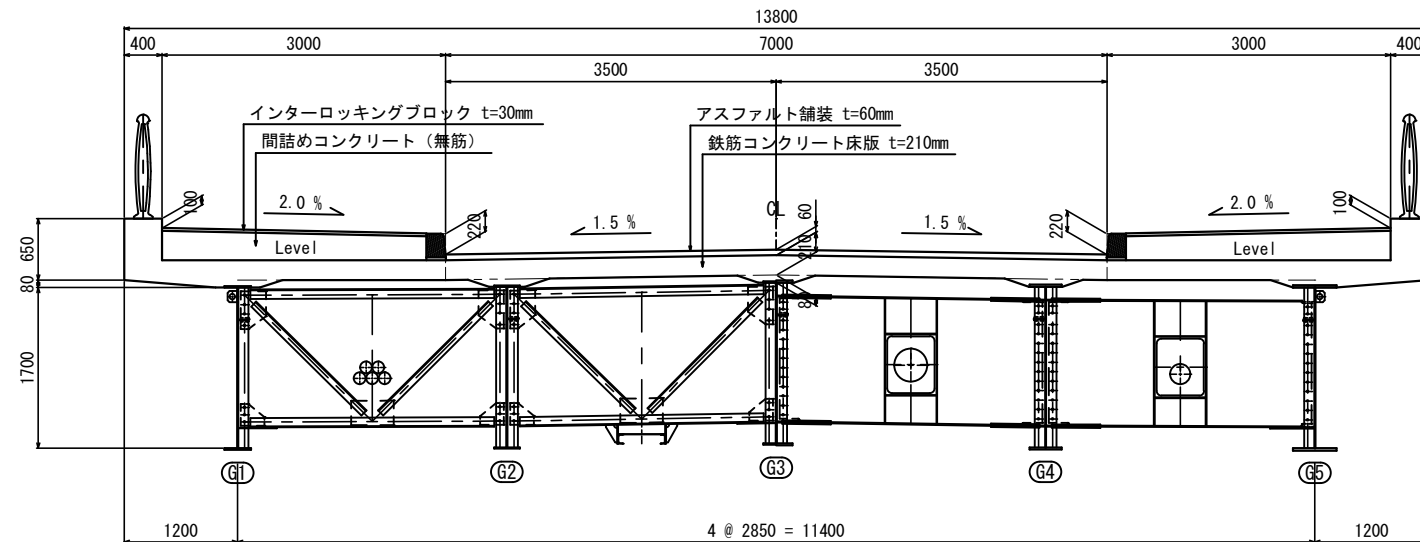


CL上
側面図 S=1/1200

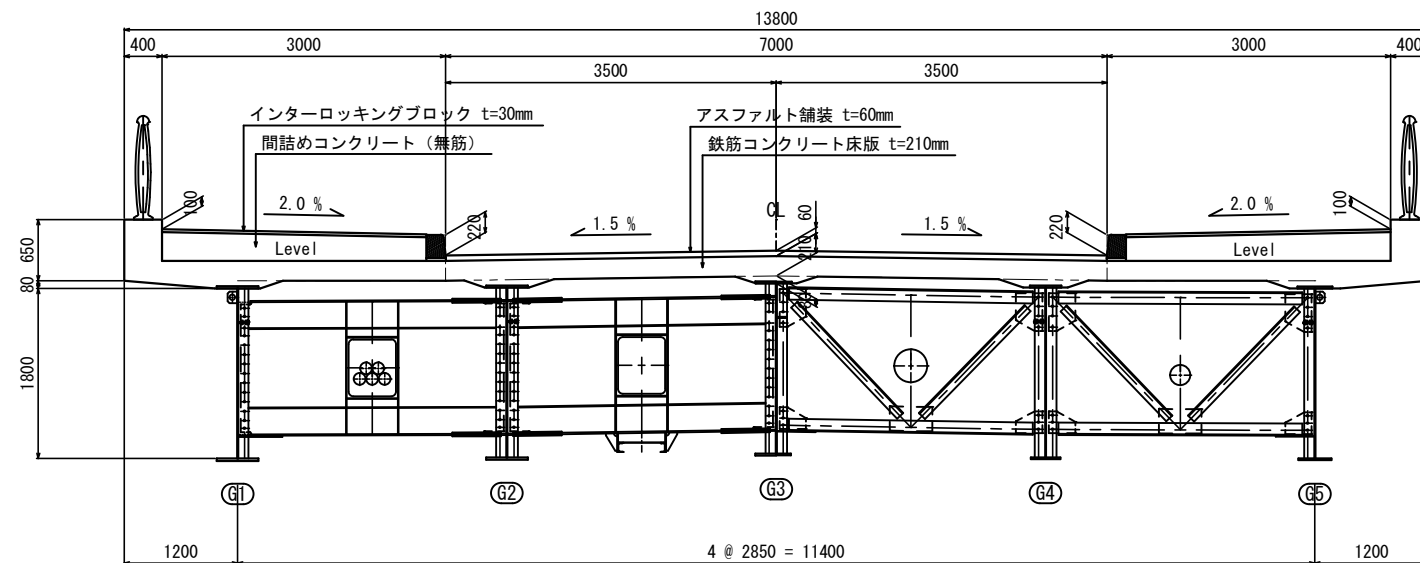


A1 ～ P6 間
断面図 S=1/80

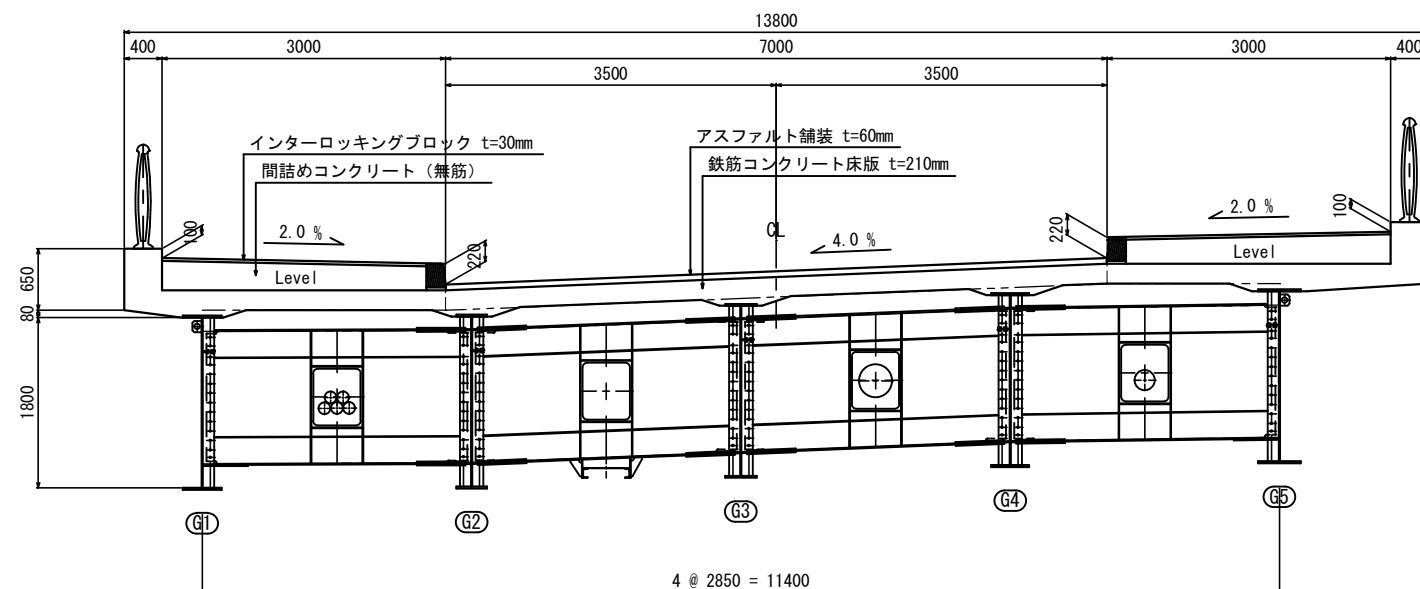
源氏大橋 現況一般図（その2）



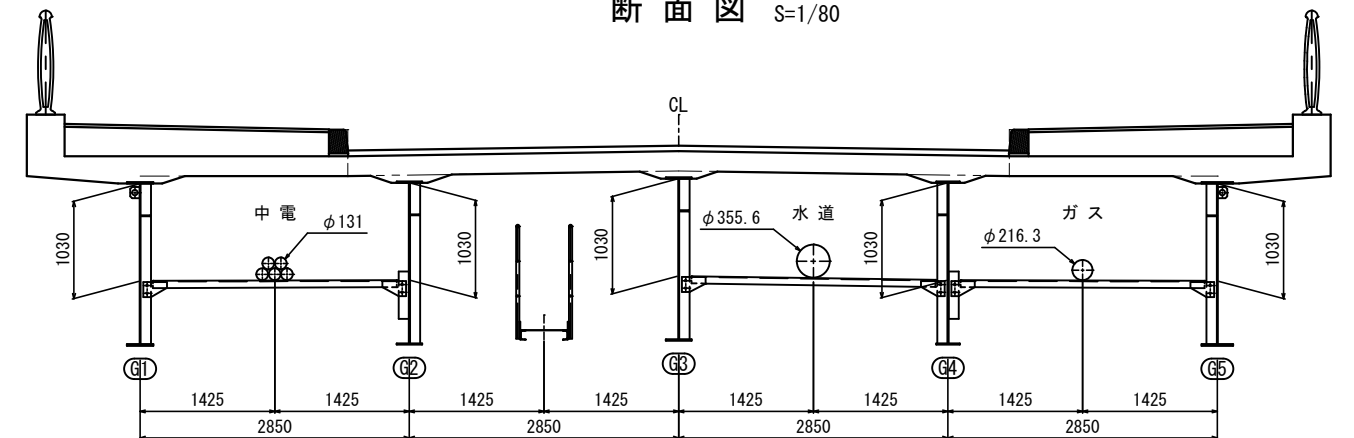
P6 ～ A2 間（直線部）
断面図 S=1/80



P6 ～ A2 間（R部）
断面図 S=1/80



添架物
断面図 S=1/80



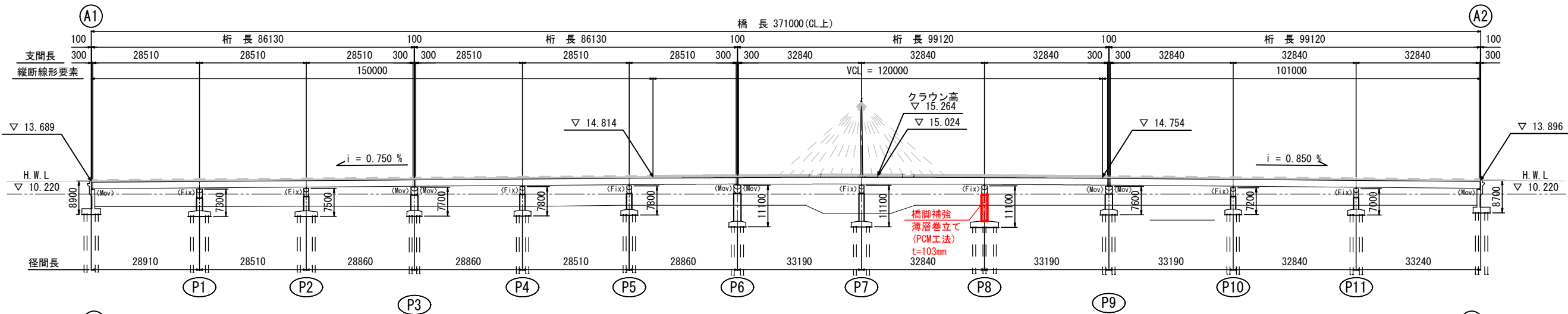
橋梁諸元表

竣工年月	平成9年3月
橋格・活荷重	1等橋(TL-20)
上部工形式	鋼3径間連続非合成鋼桁橋 × 4連
橋長	371.000 m
桁長	86.130 m × 2連 + 99.120 m × 2連
支間長	3 @ 28.910 m × 2連 + 3 @ 32.840 m × 2連
全幅員	13.800 m
有効幅員	車道部: 3.500 m × 2 歩道部: 3.000 m × 2
斜角	60°00'00" ～ 90°00'00" ～ 67°00'00"
舗装	車道部: アスファルト舗装 t = 60 mm 歩道部: インターロッキングブロック t = 30 mm
床版	鉄筋コンクリート床版 t = 210 mm (コンクリート: $\sigma_{ck} = 24 \text{ N/mm}^2$ 、鉄筋: SD295A)
縦断勾配	0.750% 直線勾配 (←) ～ VCL=120.000 m ～ 0.850% 直線勾配 (→)
横断勾配	車道部: 1.5% 直線片勾配 ～ 4.0% 直線片勾配 歩道部: 2.0% 直線片勾配
設計水平震度	kh = 0.25 (レベル1)
下部工形式	A1・A2 橋台: 逆T式橋台 (コンクリート: $\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$ 、鉄筋: SD295A) P1～P11 橋脚: 張出式橋脚 (コンクリート: $\sigma_{ck} = 21 \text{ N/mm}^2$ 、鉄筋: SD295A)
基礎工形式	鋼管杭基礎
適用示方書	岐阜県 橋梁設計要領 (H3・4) 道路橋示方書・同解説 (H2・2)

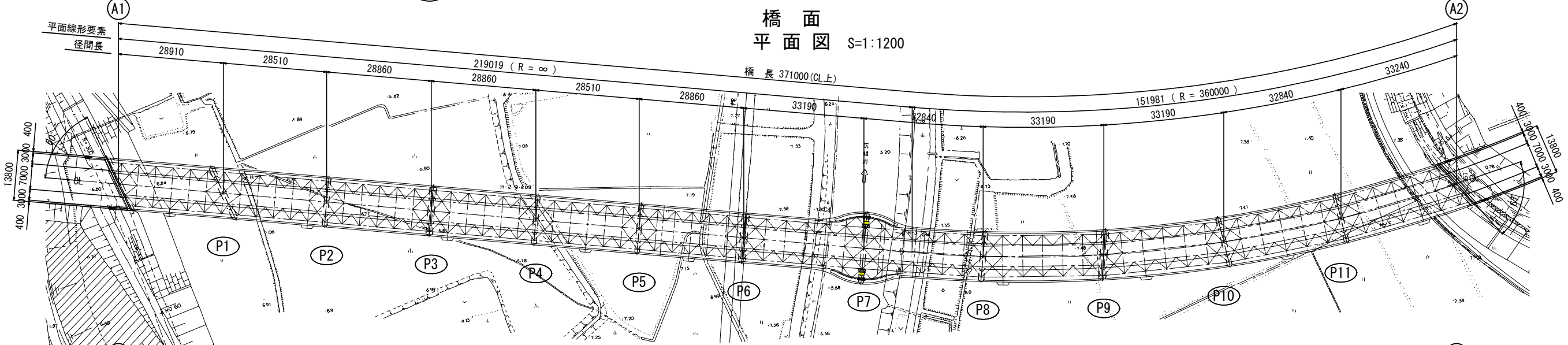
工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) 現況一般図 (その2)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	2
大垣市建設部道路課			

源氏大橋 補強一般図 (その1)

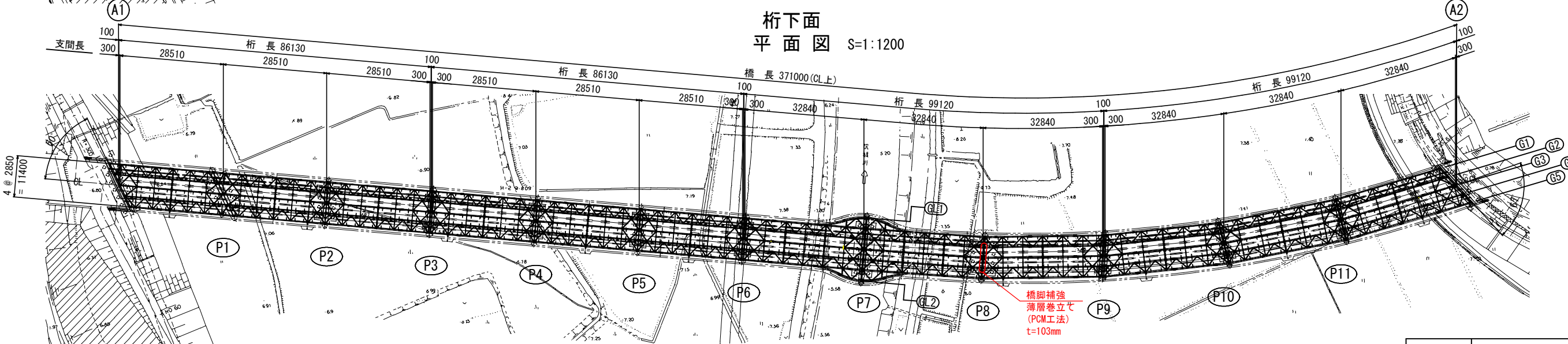
CL上
側面図 S=1:1200



橋面
平面図 S=1:1200

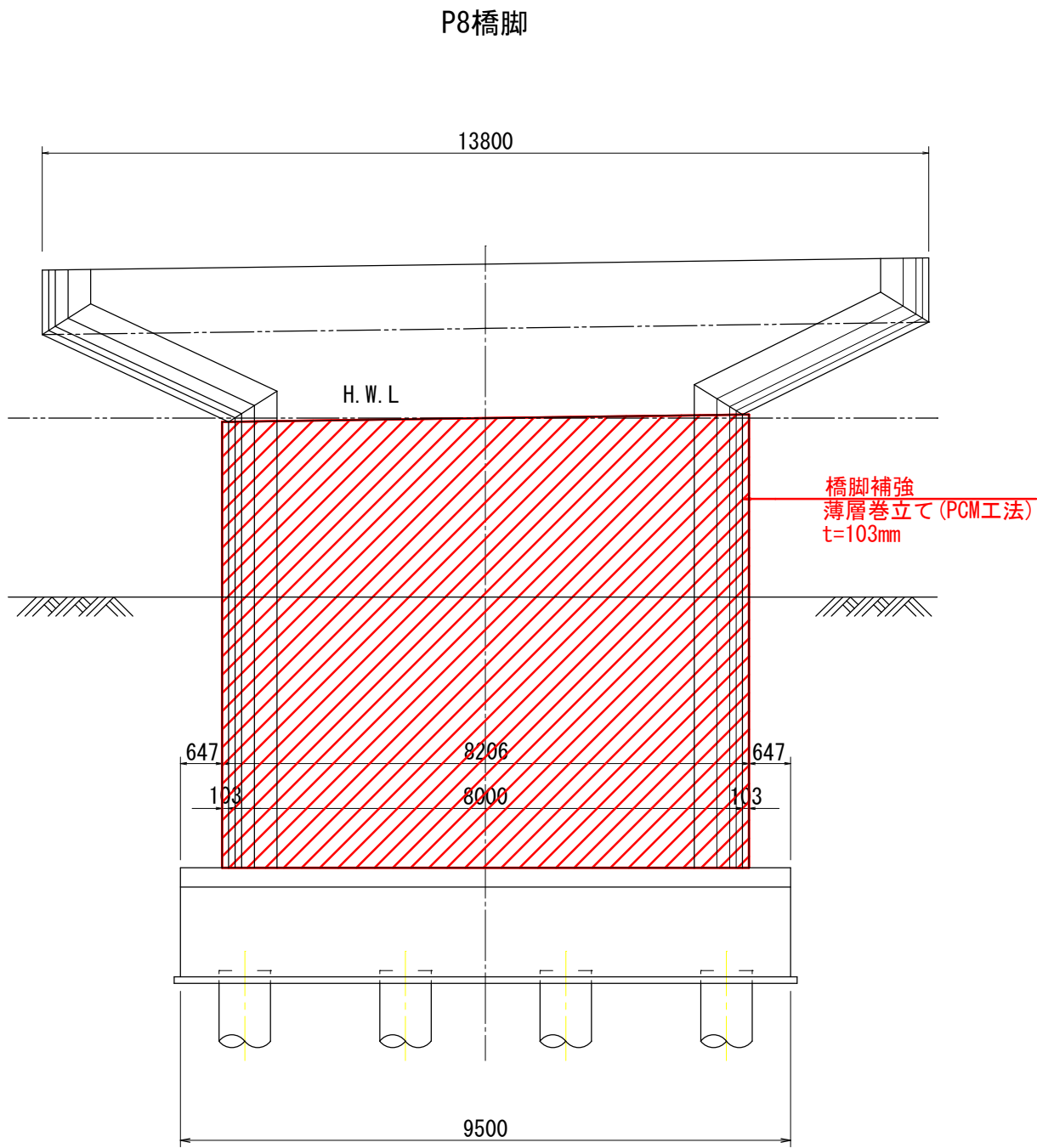


桁下面
平面図 S=1:1200



工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) 補強一般図 (その1)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	3
大垣市建設部道路課			

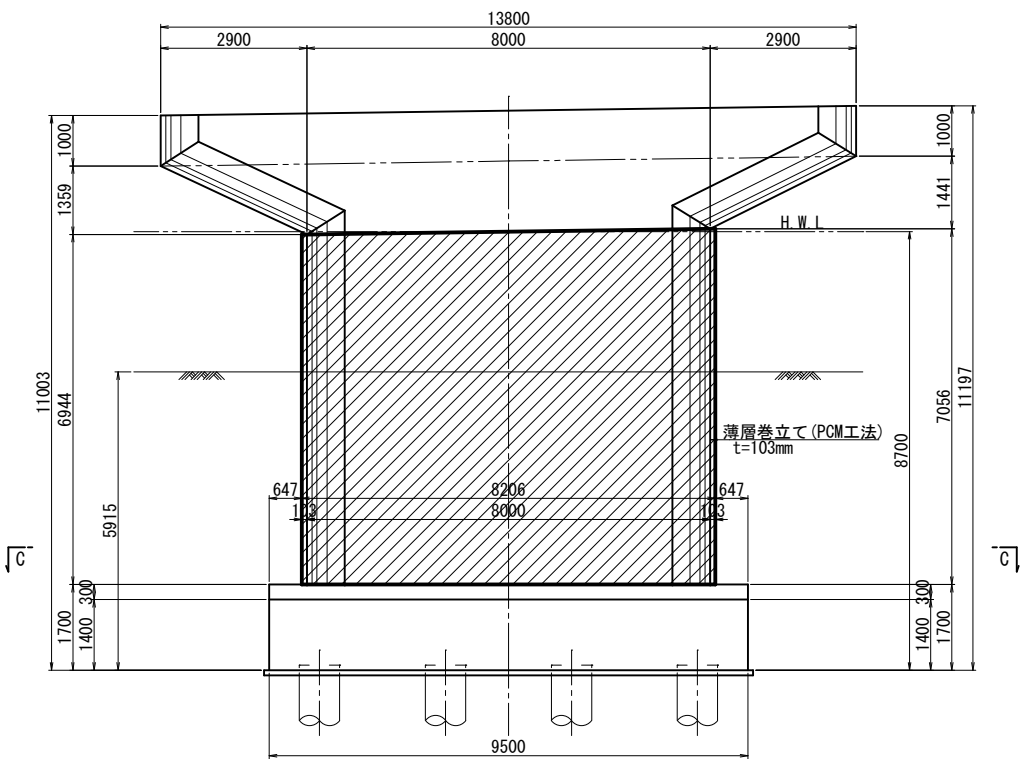
源氏大橋 補強一般図（その2） S=1:100



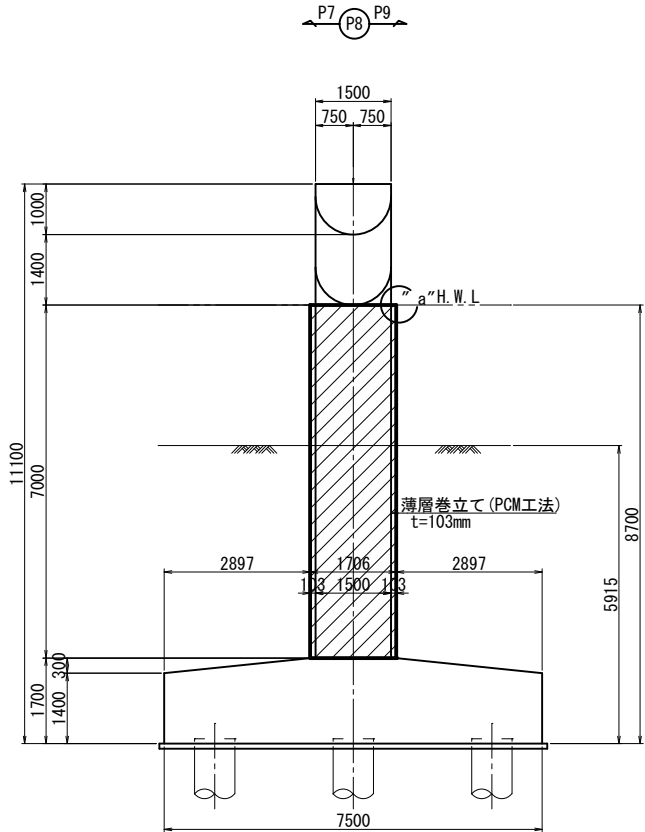
工 事 箇 所	大 垣 市 木 戸 町 地 内		
工 事 名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図 面 名 称	(源氏大橋) 補強一般図 (その2)	縮 尺	図 示
設計年月日		図面 番号	4
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

源氏大橋 P8橋脚補強一般図 S=1:150

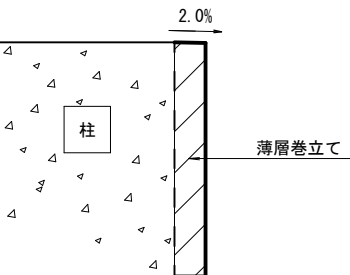
正面図
A - A



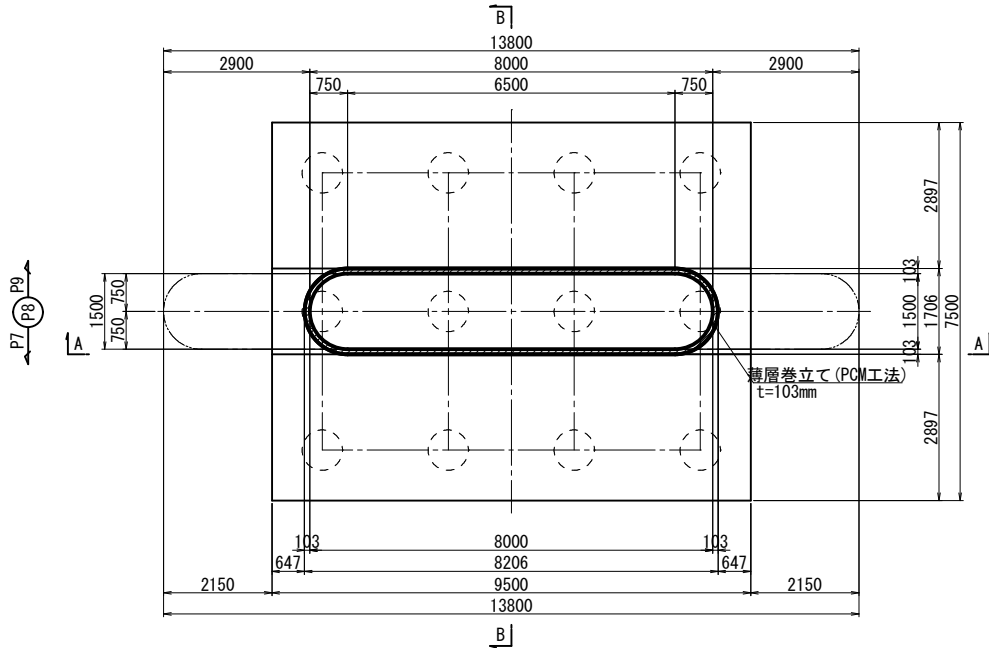
側面図
B - B



“a”部詳細図 S=1:25



平面図
C - C



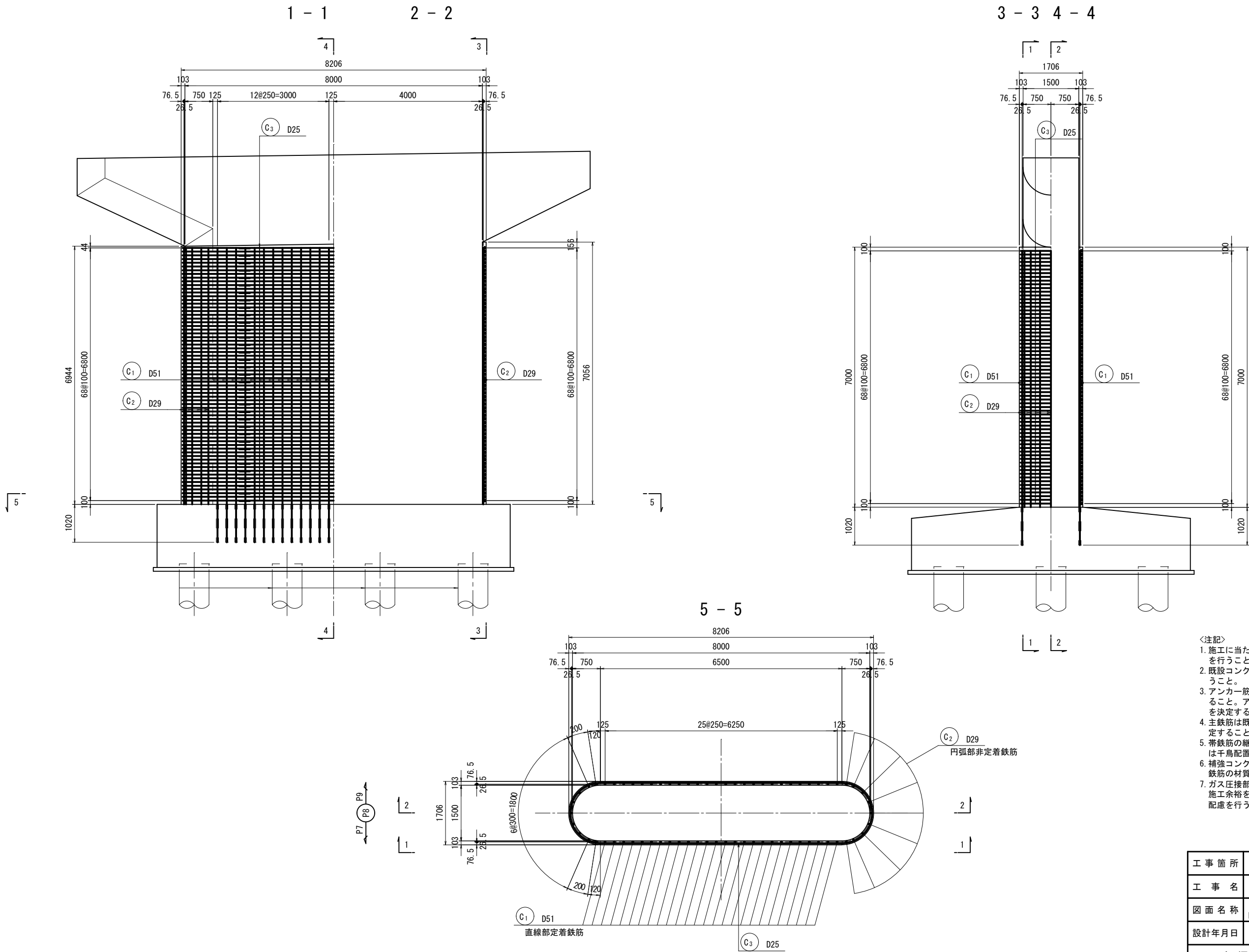
補強設計条件

既設橋梁	竣工年 (準拠基準)	平成9年 (準拠基準: 平成2年道路橋示方書・同解説)	
上部工形式	橋種	鋼3径間連続非合成鈑桁橋×4連	
	形式	全幅: 13.80m 有効幅員: 3.000m (歩道) + 7.000m (車道) + 3.000m (歩道)	
下部工形式	幅員	桁長: 86.130m × 2連 + 99.120m × 2連	
	桁長		
設計荷重	躯体	張出式橋脚	
	基礎	鋼管杭基礎	
設計水平震度 (標準値)	上部工死荷重	6300kN	
	橋軸方向	橋軸直角方向	
下部工材料	レベル2	1.30	1.30
	タイプI	1.75	1.75
橋脚補強工法	(Cz・khco) タイプII	既設	補強
	コンクリート	$\sigma_{ck}=21\text{N/mm}^2$	$\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$
適用基準	鉄筋	SD295	SD345
	薄層巻立て (PCM工法)		
適用基準	道路橋示方書・同解説	日本道路協会 (平成14.24年3月)	
	既設橋の耐震補強設計に関する技術資料	国土技術政策総合研究所資料 第700号 (平成24年11月)	
適用基準	既設道路橋の耐震補強に関する参考資料	日本道路協会 (平成9年8月)	
	既設橋梁の耐震補強工法事例集	海洋架橋・橋梁調査会 (平成17年4月)	
適用基準	橋梁設計要領 (令和元年7月)		

- ＜注記＞
1. 施工に当たっては現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。
 2. 既設コンクリート面は、適切な下地処理を行うこと。
 3. 補強天端は排水勾配として2%程度の勾配をつけること。

工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) P8橋脚補強一般図	縮尺	図示
設計年月日		図面番号	5
大垣市建設部道路課			

源氏大橋 P8橋脚補強詳細図(その1) S=1:100

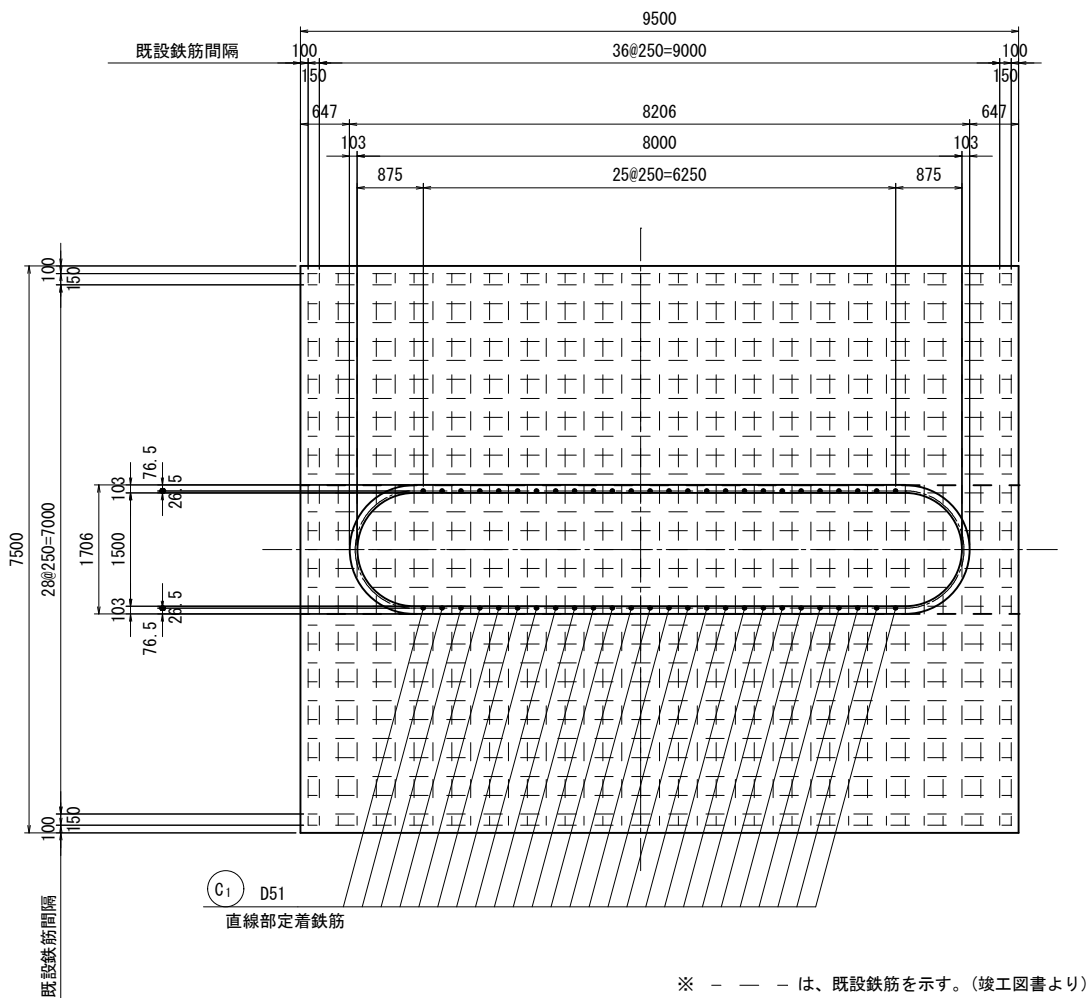


- 〈注記〉
1. 施工に当たっては現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。
 2. 既設コンクリート面は、適切な下地処理を行うこと。
 3. アンカー筋削孔時には、既設鉄筋を確認し避けること。アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
 4. 主鉄筋は既設コンクリート面に金具を用いて固定すること。
 5. 帯鉄筋の継ぎ手はフレア溶接とし、継ぎ手位置は千鳥配置とすること。
 6. 補強コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 鉄筋の材質はSD345とする。
 7. ガス圧接部については、圧接部のふくらみ及び施工余裕を考慮し、コンクリートをはつる等の配慮を行うこと。

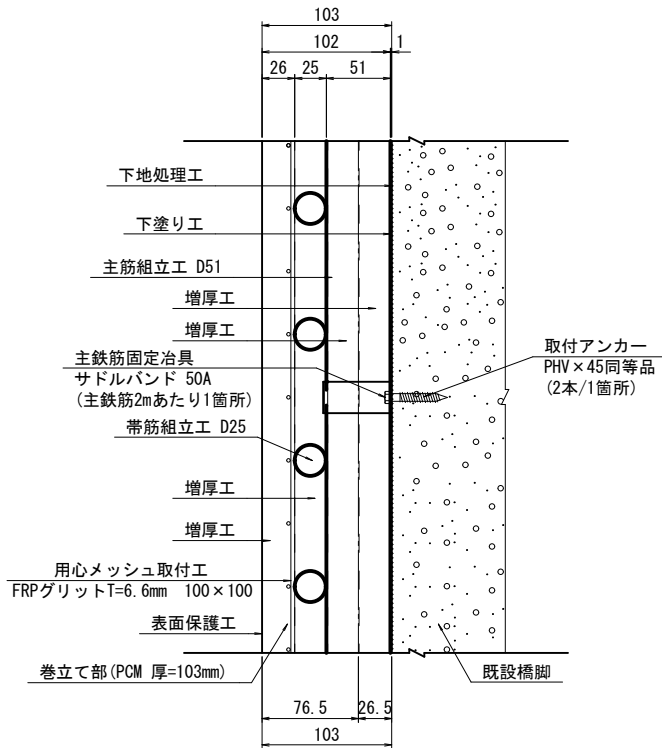
工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) P8橋脚補強詳細図(その1)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	6
大垣市建設部道路課			

源氏大橋 P8橋脚補強詳細図(その2)

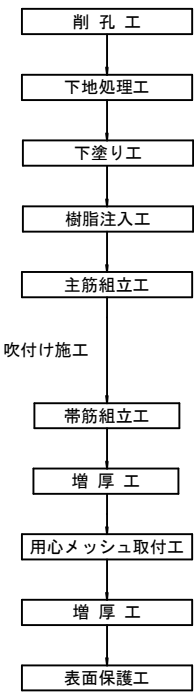
アンカー筋配置図 S=1:100



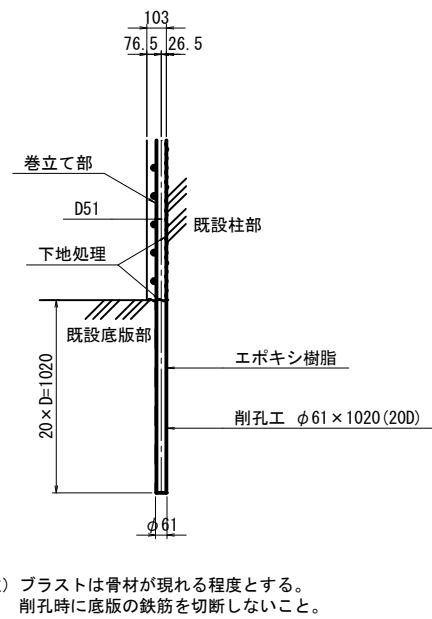
かぶりおよび施工断面詳細図 S=1:6



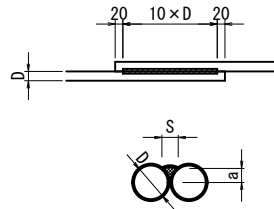
施工手順



補強鉄筋埋込み図 S=1:40

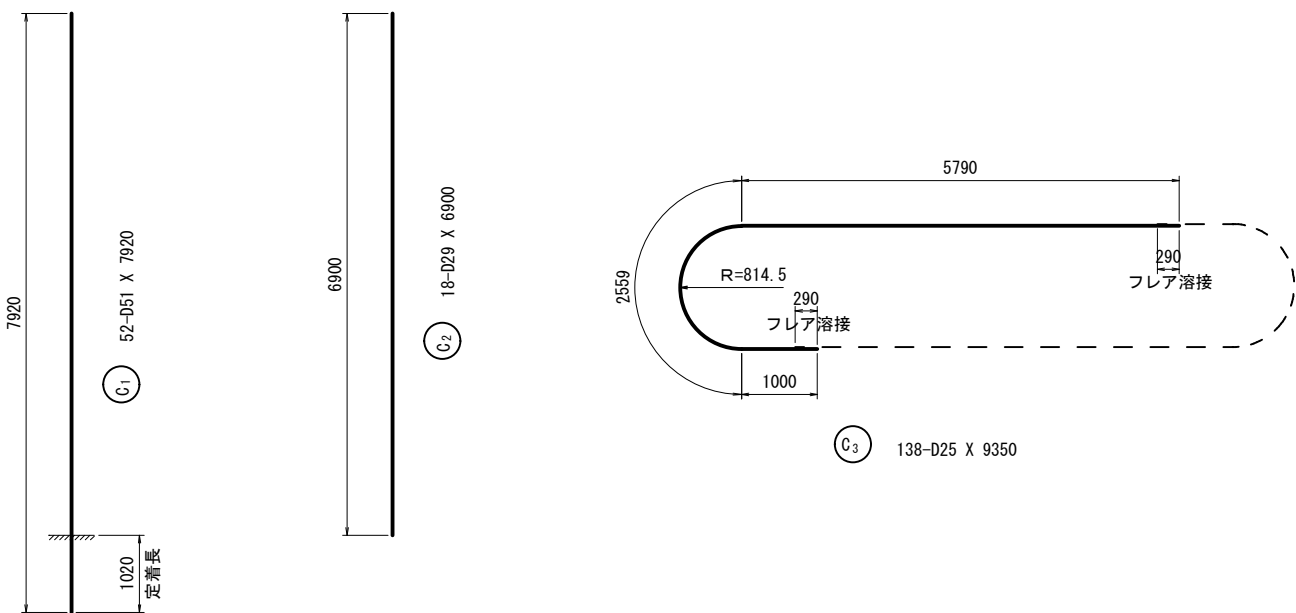


フレア溶接詳細図



径	溶接ビード幅 S	のど厚 a
D16	8.0	3.24
D19	9.5	4.41
D22	11.0	5.58
D25	12.5	5.75

鉄筋加工図 S=1:100



鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
C ₁	D51	7920	52	15.9	125.93	6548	I
C ₂	D29	6900	18	5.04	34.78	626	I
C ₃	D25	9350	138	3.98	37.21	5135	I
12309							
(フレア溶接箇所)							
合計 D51				6548 kg			
D29				626 kg			
D25				5135 kg	(138)		
総質量				12309 kg	(138)		

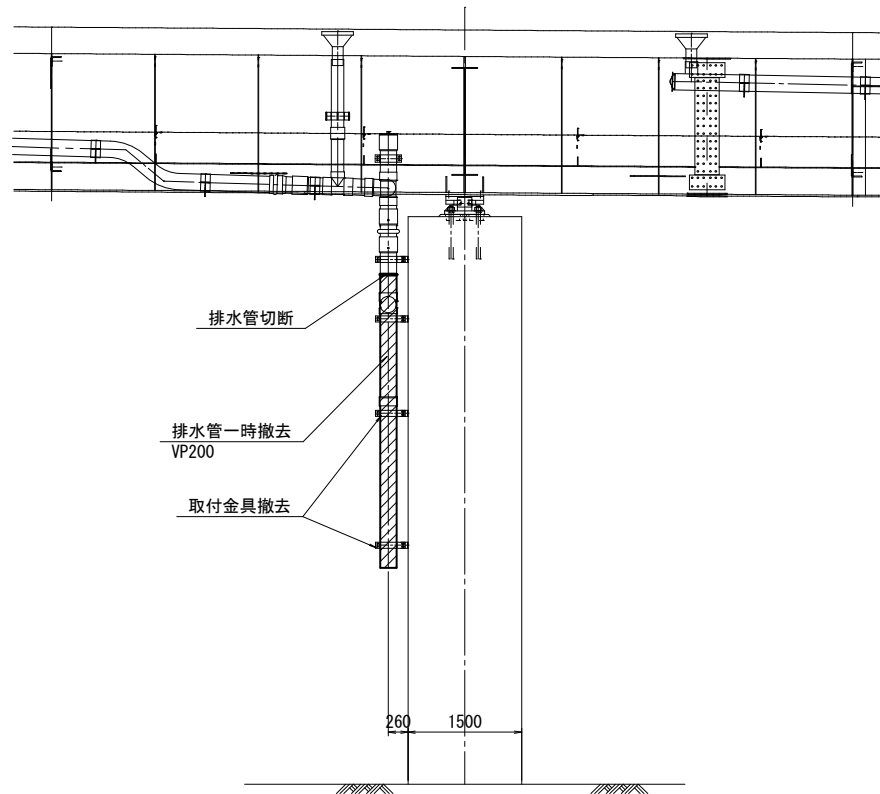
〈注記〉

- 施工に当たっては現地計測を行い、寸法の確認を行うこと。
- 既設コンクリート面は、適切な下地処理を行うこと。
- アンカー筋削孔時には、既設鉄筋を確認し避けること。アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
- 主鉄筋は既設コンクリート面に金具を用いて固定すること。
- 帯鉄筋の継ぎ手はフレア溶接とし、継ぎ手位置は千鳥配置とすること。
- 補強コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=30\text{N/mm}^2$ 鉄筋の材質はSD345とする。
- ガス圧接部については、圧接部のふくらみ及び施工余裕を考慮し、コンクリートをはつる等の配慮を行うこと。

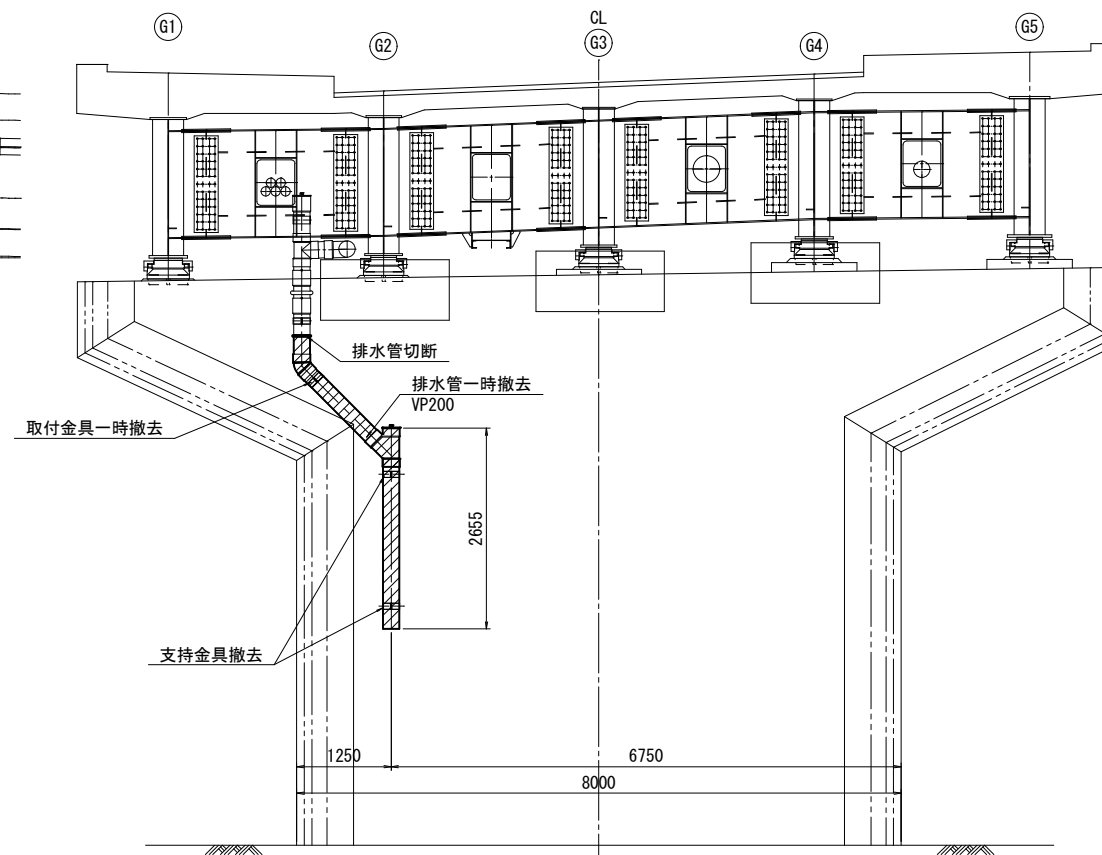
工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) P8橋脚補強詳細図(その2)	縮尺	図示
設計年月日		図面番号	7
大垣市建設部道路課			

P8橋脚 排水管撤去図 S=1:100

起点側 (P8) 終点側



P8橋脚 排水管復旧図 S=1:100



1基当り撤去数量

- 4-PL 80×4.5× 509 (SS400)
- 2-PL 80×6 × 91 (SS400)
- 2-PL 80×6 × 200 (SS400)
- 8-B. N. M12× 40 (SS400)

φ14 30長孔 (金具側)

φ14 30長孔 (conn側)

368
70
228
70
30
40
30
40
30
40
30
100

2-φ14
M12×40

157
6
139
6
4
105
105
240
450
30
40
228
30
40
30
40
30
100

φ216

2-φ14×30長孔
ホールインアンカー
M12×100(垂鉛めっき)
削孔 φ18×57

450
50
350
50
100
250
100
50
50
100

1箇所当り数量

4-FB 100×6×489 (SS400)
4-FB 100×6×206 (SS400)
2-FB 100×6×450 (SS400)
8-BN M12×40<2-W>
4-ホールインアンカー M12×100(垂鉛めっき)

215

227

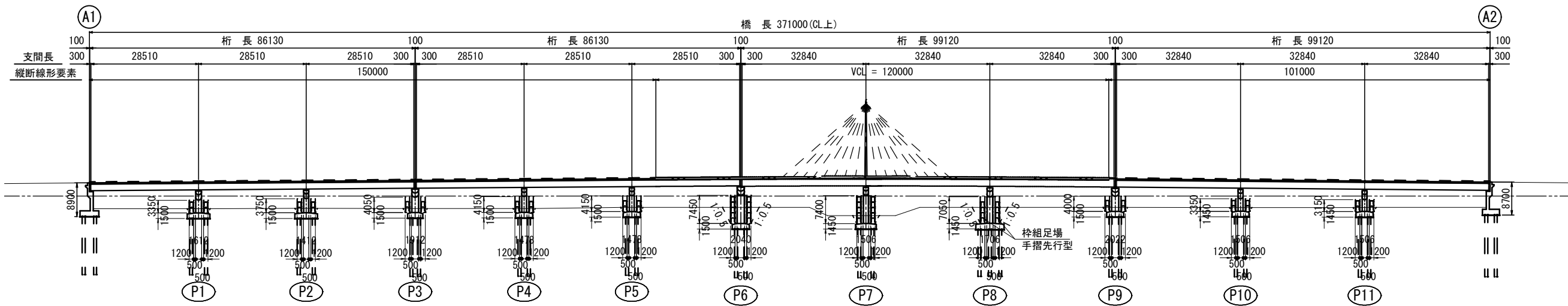
〈注記〉

1. 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
2. 取付金具の表面処理は溶融亜鉛めっき仕上げ（HDZ55）とする。

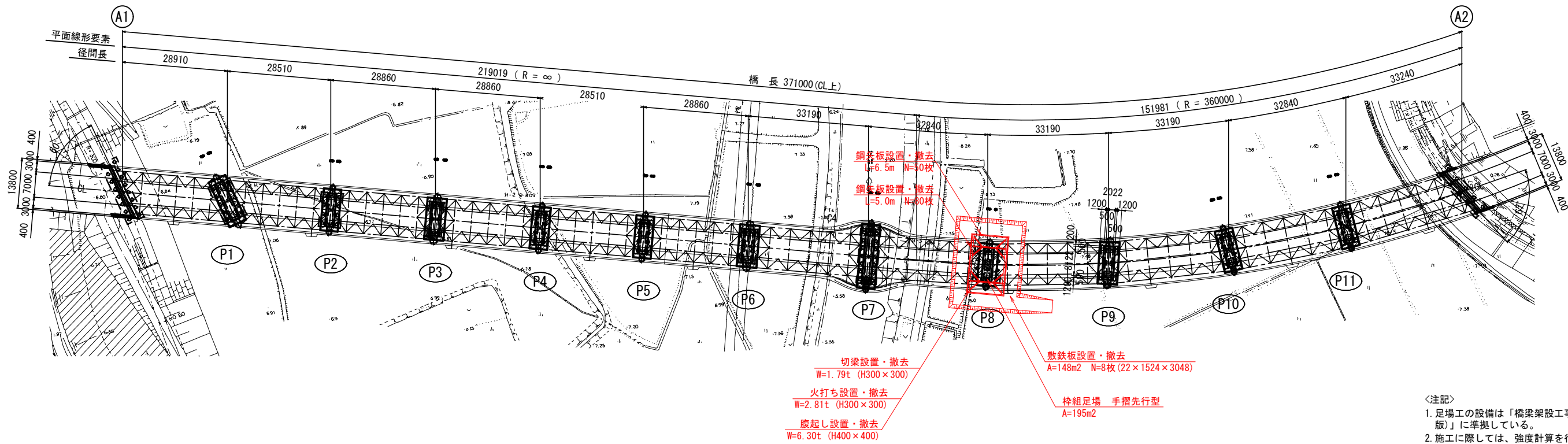
工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工 事 名	(補) 橋梁耐震補強 (源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) 排水装置移設工	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	8
大 垣 市 建 設 部 道 路 課			

源氏大橋 仮設計画図(参考図1) S=1:1200

CL上
側面図



平面図

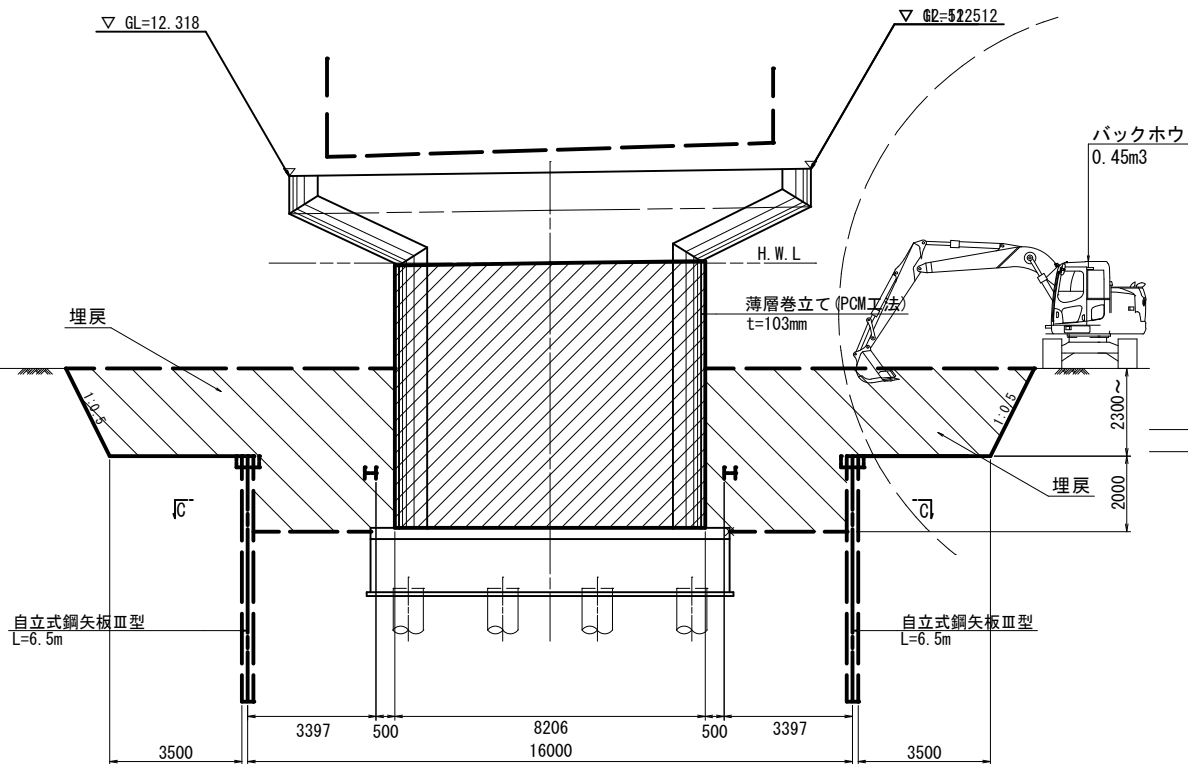


〔注記〕
1. 足場工の設備は「橋梁架設工事の積算(令和3年度版)」に準拠している。
2. 施工に際しては、強度計算を行い適切な部材配置を行うこと。

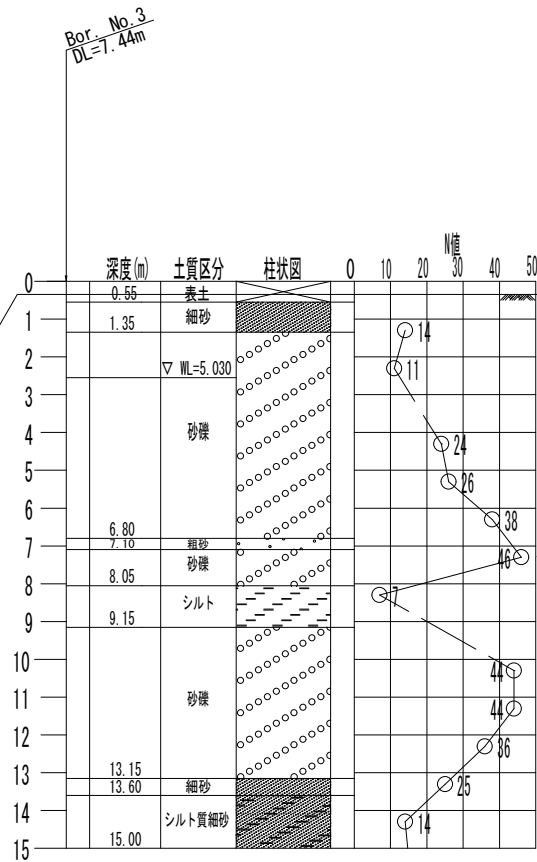
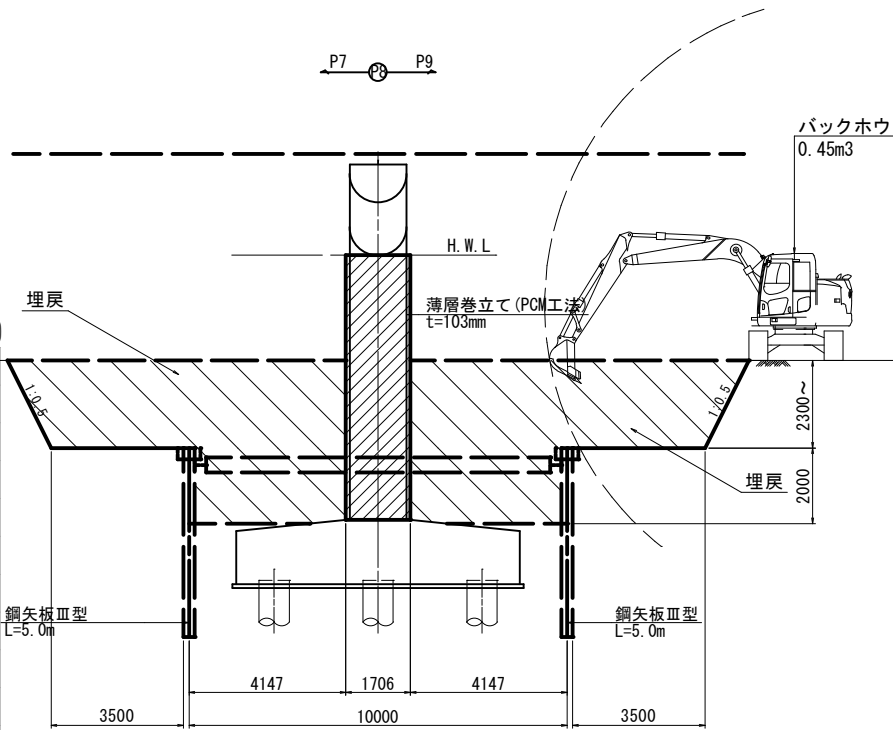
工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強(源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) 仮設計画図(参考図1)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	9
大垣市建設部道路課			

源氏大橋 仮設計画図(参考図2) S=1:200

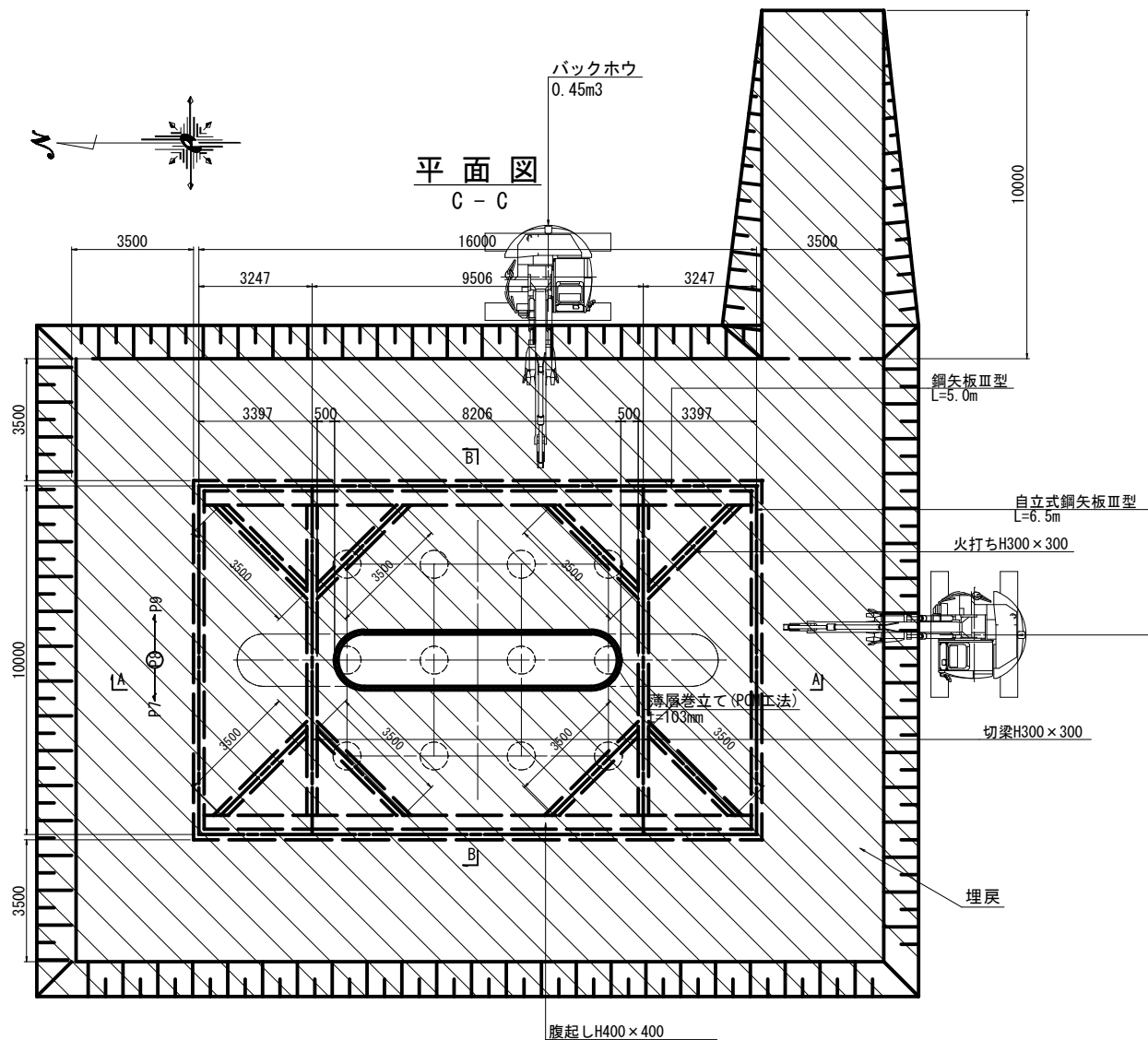
正面図
A - A



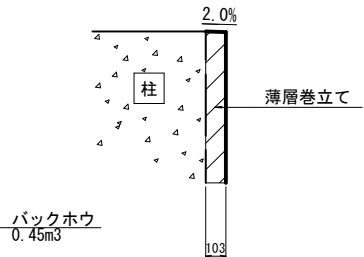
側面図
B - B



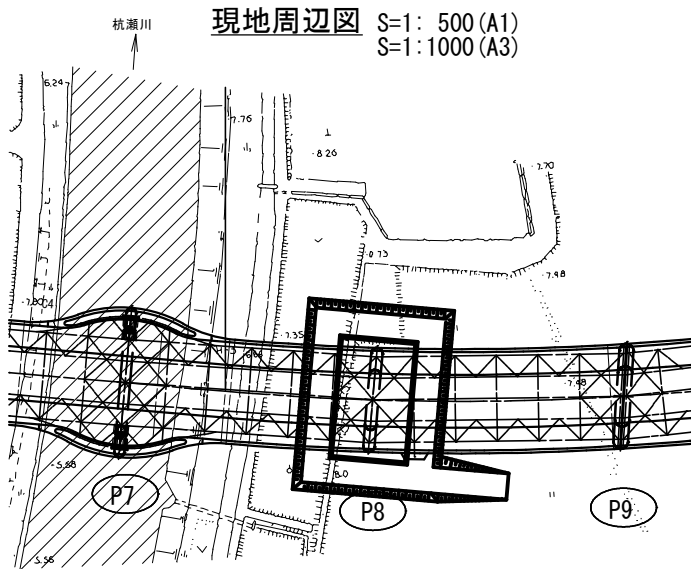
平面図
C - C



補強部断面図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



現地周辺図 S=1:500 (A1)
S=1:1000 (A3)



工事箇所	大垣市 木戸町 地内		
工事名	(補) 橋梁耐震補強(源氏大橋) 工事		
図面名称	(源氏大橋) 仮設計画図(参考図2)	縮尺	図示
設計年月日		図面 番号	10
大垣市建設部道路課			